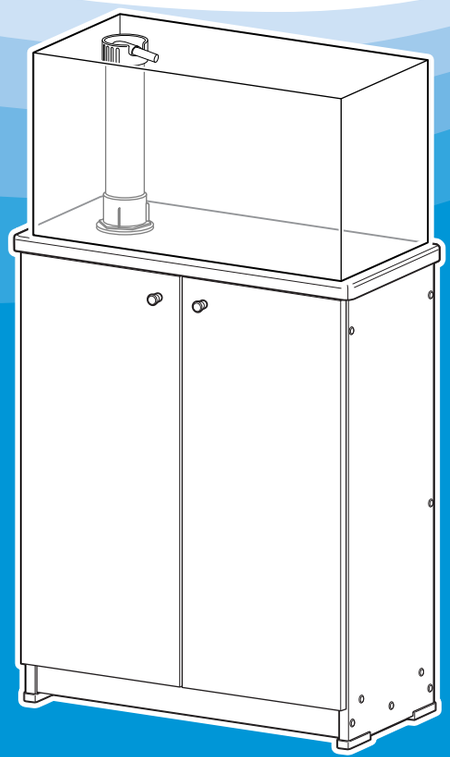
淡水用

アクアクリア

水槽セット

AQS-600T

取扱説明書



保証書付

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書（保証書付）はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

もくじ

ページ

アクアクリアのろ過システムとは……2
安全上のご注意……3
使用上のご注意……5
水槽セットの内容……6
水槽、水槽台の設置のしかた……7
配管セットの組み立て……8
ろ過装置の準備……10
ろ過装置の設置のしかた……14
硬度調整剤の追加……15
ガラスフタの設置……15
飼育の手順……16
お手入れ……17
水槽台の扉の微調整方法……20
こんなときのQ&A……21
仕様・別売品……22
保証とアフターサービス
保証書……裏表紙

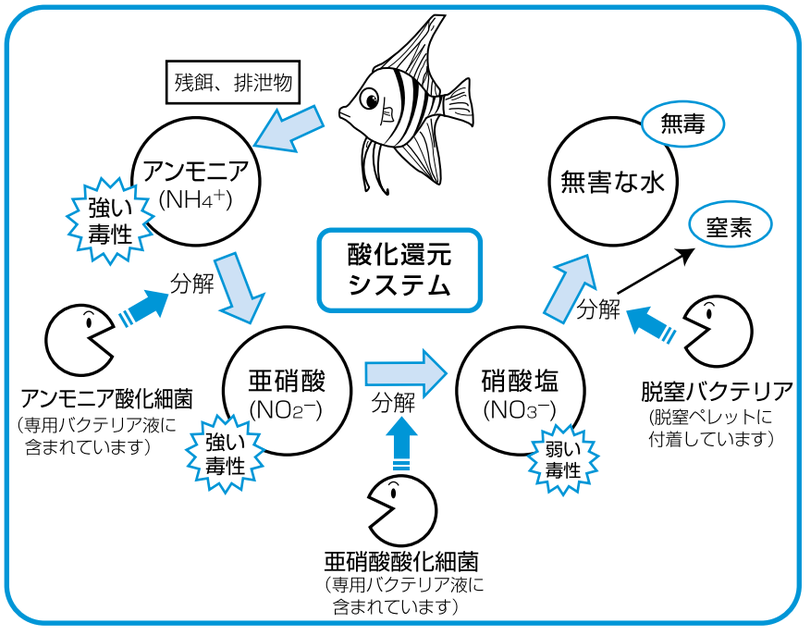
アクアクリアのろ過システムとは

水槽の水は残餌や排泄物により汚れます。そのままでは魚にとって有害な物質が増え、放置すると魚が死亡することがあります。
アクアクリアは、専用のバクテリアと独自のろ過装置を使用することで、水を浄化し、長時間の「水替え不要」を実現しました。(約1年間水替え不要)

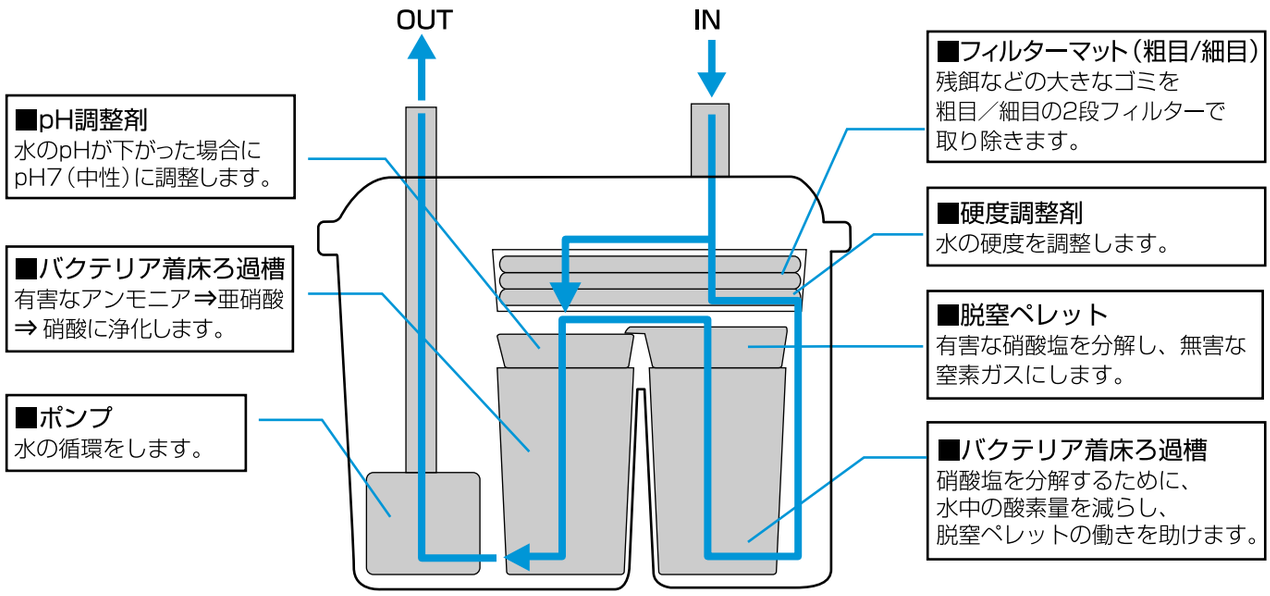
注意：本書に表記している「水替え不要」とは、「水槽内の水の交換をしなくても良い」という意味です。水槽・ろ過装置などのメンテナンスは本製品の維持に必要です。また、藻やコケが発生した場合や底に砂利などを敷いた場合は飼育状況に応じてのメンテナンスが必要になります。

■水の浄化について

水槽で健康な魚を育てるには、水の浄化が不可欠です。一般的な水槽のろ過システムでは、自然発生する有用なバクテリアによる生物ろ過により水を浄化しますが、有害な物質(硝酸塩)が蓄積するため水の交換が必要になります。
アクアクリアのろ過システムは、専用バクテリアによる効率よい浄化と硝酸塩の分解により、有害物質の蓄積を防ぎ、水替えの手間を少なくします。



■アクアクリアのろ過システムの特長



アクアクリアのろ過システムは、専用の有用バクテリア(アンモニア酸化細菌、亜硝酸酸化細菌、脱窒バクテリア)を効率よく活性化させる環境を作り出します。また、フィルターやろ過材は独立しているため、定期交換が無駄なくでき、約1年間の水替え不要(当社実験による)が実現できます。
(飼育条件によって水替えの間隔が短くなることがあります。また、病気の発生時や藻の発生の著しいときは水替えを行う必要があります)

安全上のご注意

ご使用になる前に、この**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、**「警告」「注意」**の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の説明

してはいけない「禁止」内容です。

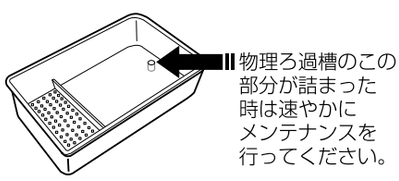
しなければならない「強制」内容です。

「必ず差込プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

⚠ 警告

脱窒ペレットには、硫黄が含まれています。
ポンプの故障、飼育を止めての放置などが原因で水が循環しなくなると、硫酸還元細菌が活動して、温泉臭（硫黄臭）が発生しますので、直接吸い込まないようご注意ください。

水が流れている場合には発生しませんので、物理ろ過槽の穴が詰まっていないかを定期的に確認してください。
もし、詰まっていることが発見された場合は、速やかにろ過槽のポンプを停止してメンテナンスを行ってください。



■メンテナンス上の注意

物理ろ過槽のマットのチェック時に、穴に詰まりなどが起きていないか確認してください。(1ヶ月に1度は行ってください) 作業する部屋の窓などを開放し換気と通気を良くしてください。
風呂場などの密室では作業しないでください。
ろ過装置のろ過材を取り出す場合は、留まっている水が流れて空気中にガスが放散されますので、ガスを吸い込まないように十分ご注意ください。

■メンテナンス方法

穴詰まりが生じた場合は、次の手順に従って速やかにメンテナンスを行ってください。
①ポンプを止める。
②ろ過装置よりホースをはずす。
③揺らさないようにろ過装置を取りはずし、中のボックス、ポンプ類をはずす。
④中の水の臭いを嗅がないようにして捨てる。
⑤目詰まりした箇所を付属の綿棒などで掃除して組み付ける。
⑥再度ろ過槽にカルキ抜きした水を入れ、ろ過装置をセットする。

安全上のご注意

⚠ 警告

●ポンプは交流100V以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電の原因になります。

●水の中に手を入れる時や掃除・点検・移動の際は、必ず電気器具の電源プラグをコンセントから抜く。

感電やけがの原因になります。

●電源プラグ、コンセントに水や塩水などをかけない。

火災・感電の原因になります。

●電源プラグのほこりは定期的にとる。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

●電気器具のコードや電源プラグを傷つけたり、無理に曲げたり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。

破損し、火災・感電の原因になります。

●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になります。

●改造はしない。また、掃除以外の分解・修理をしない。

火災・感電の原因になります。
※修理はお買い上げの販売店または
アイリスコールにご相談ください。

●小さなお子様の手の届くところに設置しない。

転倒などによるけがや破損、
火災・感電の原因になります。

●ろ過装置を1日以上止めるときは必ず水を抜き、ろ過材を取り除く。

硫黄臭の発生のおそれがあります。

⚠ 注 意

●浴室など湿気の多い水のかかる場所で使わない。

火災・感電・故障や水槽台の
歪みの原因になります。

●乗ったり寄りかかったりしない。

転倒・落下によるけがや破損
の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。

コードが破損し、火災・感電・
ショートの原因になります。

●ろ過材を小さなお子様の手の届く所に保管しない。

ろ過装置運転中にいたずらしない
ようご注意ください。

●長時間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化により火災・感電の
原因になります。

●他の電気製品の近くに設置しない。

水がかかると電気製品の故障や
火災の原因になります。

●不安定な場所に設置しない。
（たたみやじゅうたんの上に設置するときは
板などを下に敷いてください）

転倒・落下によるけがや破損の
原因になります。

●ろ過材、バクテリア液を口に入れない。また、目や傷口に入らないようにする。

使用上のご注意

水　槽

●設置前に水槽に割れ・キズがないかよく確認する。
設置後に、水を入れてから2時間程様子を見て
水もれがないことを確認してください。
水もれが発生している場合、すぐに使用を
中止して水を抜いてください。
必ず実施

●屋外や直射日光の当たる場所に設置しない。
水槽の割れ・水もれの
原因になります。
禁止

**●周囲温度が適温範囲(10℃～30℃)を超える
ところに設置しない。一定の温度が保てる
場所に設置する。**
水槽の割れ・水もれの原因になります。
また、水温は魚に合わせてください。
魚の死亡の原因になります。
禁止

**●ヒーターなどの保温器具は直接ガラス面に
触れないようにする。**
ヒビ、割れの原因になります。
必ず実施

**●狭い場所や人通りが激しいところに
設置しない。**
水槽にものがあたると、ガラスが
割れることがあります。
禁止

●専用水槽台以外に設置しない。
水槽の割れ・水もれ、誤って落下した
場合けがの原因になります。
禁止

**●手荒に扱ったり、ぶつけたり、
たたいたりしない。**
水槽のガラスが割れて、火災・感電・
けがの原因になります。
禁止

**●水や砂利を入れたまま水槽を持ち上げたり
移動したりしない。**
水槽が変形して、割れ・水もれ、誤って落下した
場合けがの原因になります。必ず底砂を抜き、
両手で水槽の底を持って移動してください。
禁止

●40℃以上のお湯を入れない。
ガラスの割れ、けがの原因に
なることがあります。
禁止

**●お手入れの際は、洗剤、シンナー、
ベンジンなどを使わない。**
水槽が変形して、割れ・水もれの原因に
なります。また、魚や水草にも有害です。
お手入れの際は、水またはぬるま湯で
固く絞った布を使って拭いてください。
禁止

**●お手入れの際は、ガラス面を傷つけたり、
接合部のシリコンを強くこすらない。**
水槽の割れ・水もれの原因になります。
禁止

●水槽には必ず付属のガラスフタを使用する。
水槽中への異物落下防止、魚の飛び出し防止
などのため、水槽にはフタをしてください。
必ず実施

ろ過装置、ろ過材、バクテリア

●海水魚を入れない。
淡水観賞魚専用です。他の目的に
使用しないでください。
禁止

●専用ろ過材以外を使用しない。
必ず専用ろ過材をご使用ください。他の製品を
使用すると効果を発揮しません。
禁止

●ポンプの空運転は絶対にしない。
空気中で回し続けると、モーターの
温度が上がり、故障の原因になります。
禁止

水槽台

●他の目的に使用しない。
アイリスアクアクリア水槽セット専用です。
禁止

●火気や暖房器具のそばでは使用しない。
火災や、やけど、製品の変形の
おそれがあります。
禁止

**●乗ったり、ゆすったり、扉に
ぶらさがったりしない。**
転倒・落下によるけがや破損の原因になります。
禁止

**●フローリングの床など傷つきやすい
床面での使用に注意する。**
床のキズ、へこみなどの原因になります。
必ず実施

●扉を強く閉めない。
けがや破損の原因になります。
禁止

●本セットの水槽以外は載せない。
けがや破損の原因になります。
禁止

●定期的にネジを締め直す。
使用しているうちにネジにゆるみが発生し、
ぐらつくことがありますので定期的に
締め直してください。
必ず実施

**●水分、油、洗剤などが付着した場合は、
素早く拭き取る。**
腐食やカビ・変形・変色の原因になります。
必ず実施

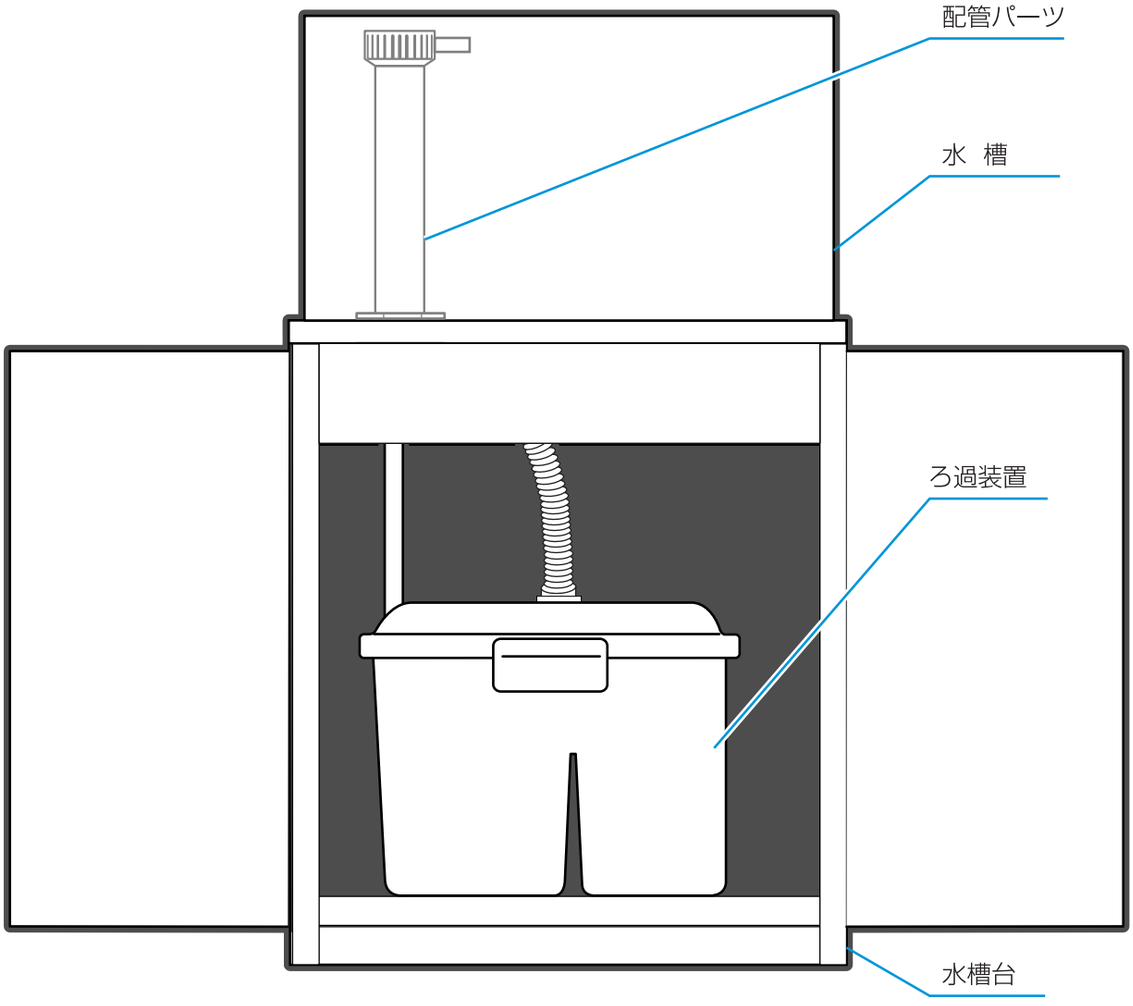
●熱いものを置かない。
腐食やカビ・変形・変色の原因になります。
禁止

●シール、テープなどを貼らない。
腐食やカビ・変形・変色の原因になります。
禁止

●移動の際は側面板を持って運ぶ。
天板を持っての移動により本体が分解され、
けがの原因になることがあります。
必ず実施

水槽セットの内容

以降のページで各部品を確認ください。



バクテリア液、脱窒ペレットについて

上記の2品目はバクテリアが入っているため、お客様の元へ万全の温度管理の状態でお届けする必要がありますので別送品扱いとなっています。
お手数ですが、本製品に付属しているハガキを弊社までお送りください。
確認後、宅配便にてお届けします。
また、届いてからご使用までの間は直射日光を避け、冷蔵保存してください。

※アクアクリアには保温装置（ヒーター、サーモスタット）は付属されておりません。
　水温管理が必要な熱帯魚を飼育する場合は、別途市販のものをお買い求めください。

※照明ライトは付属されておりません。水槽サイズに合った水槽用照明器具を別途お買い求めください。

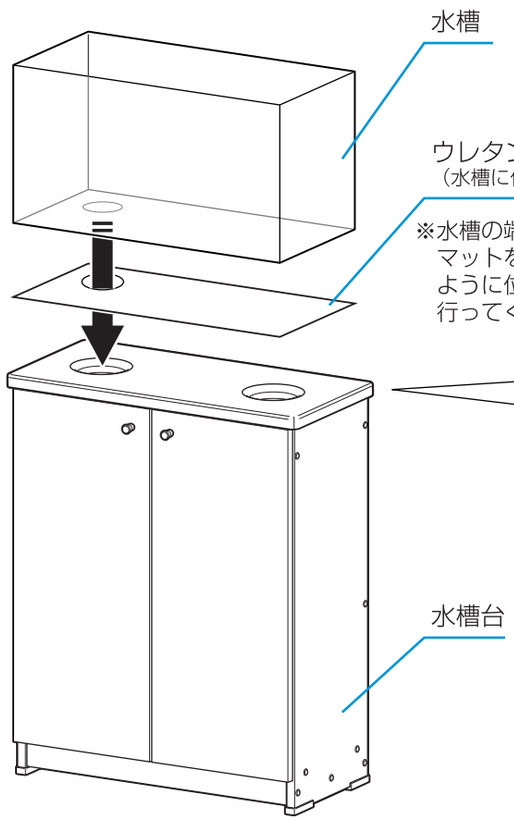
水槽、水槽台の設置のしかた

設置場所について

●必ず水平で強度のある床に設置する。
水が入った水槽はとても重くなります。(約60kg以上)　水槽台は必ず付属の専用水槽台を使用し、重量に十分耐えられる床に設置してください。
●家電製品の近くに設置しない。
水がかかった場合、家電製品の故障や、感電・火災などの原因になります。
●直接日光のあたる場所や高温多湿になる場所に設置しない。
水槽接合部の劣化による水もれや、水槽台の歪みなどの原因になります。

■水槽を水槽台の上に置きます。

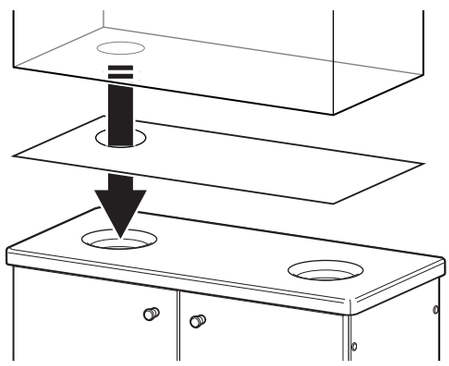
※水槽とウレタンマットについているゴミなどを
しっかり取り除いてください。破損の原因になります。



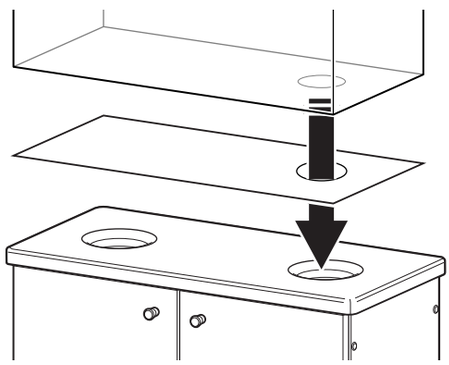
※図は排水口を左側に設置する場合です。

置く場所によって、排水口の位置を変えられます。

●左側に設置する場合



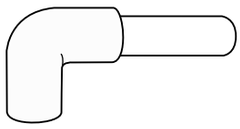
●右側に設置する場合



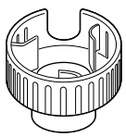
配管セットの組み立て

各部の名前と付属品

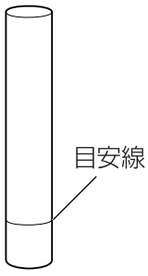
配管セット



注水口×1

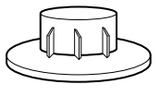


消音キャップ×1

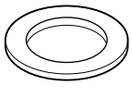


パイプ(太)×1

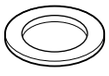
パイプ(細)×1



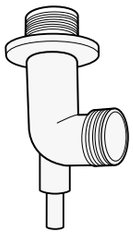
ソケット×1



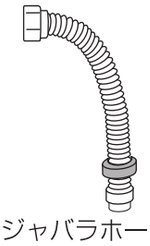
ゴムパッキン(大)×2



ゴムパッキン(小)×1



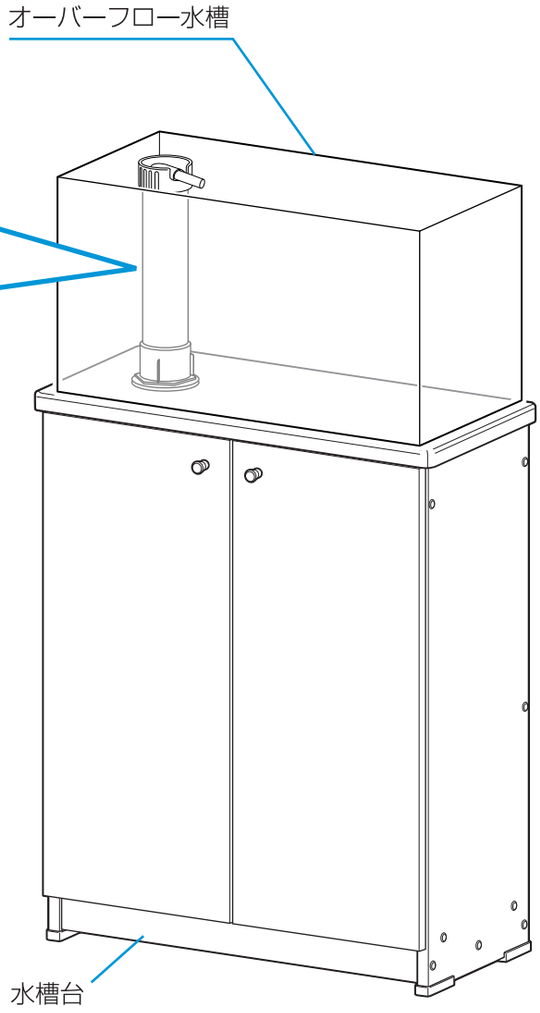
L字ソケット×1



ジャバラホース×1

※ジャバラホース以外は組み立てられて入っています。

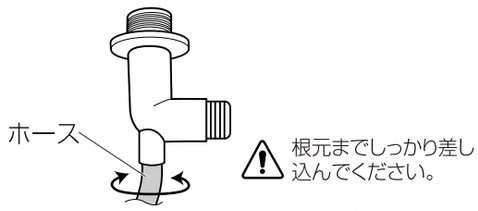
配管セットは仮組みされていますので、
一度分解して部品を確認してください。



配管セットの組み立て

1 L字ソケットにホースを取り付けます。

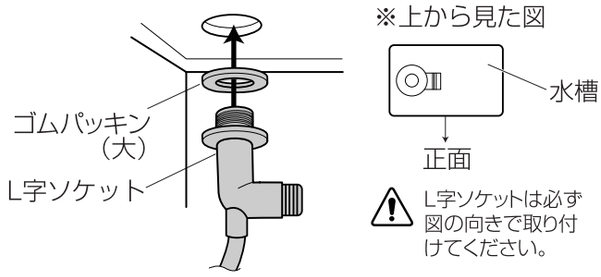
※ホースはろ過装置に入っています。



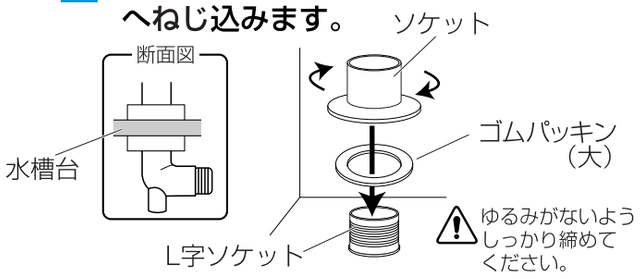
取り付け方のコツ

ホースはきつめになっています。
差し込み部とホース内部を水でぬらし、回しながらねじ込んでください。

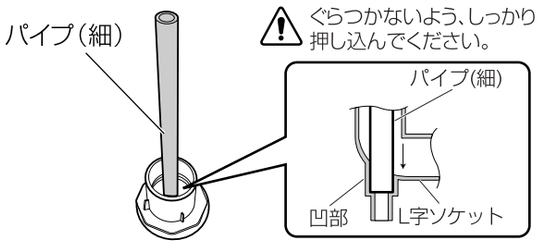
2 L字ソケットを水槽台の下から入れます。



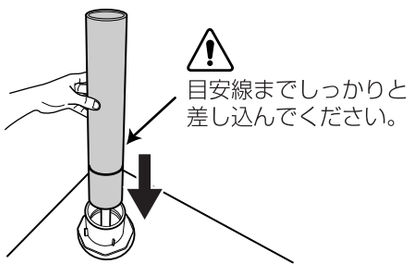
3 ソケットを水槽の内側からL字ソケットへねじ込みます。



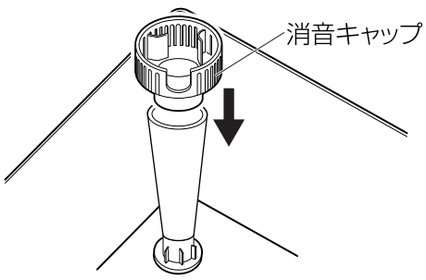
4 パイプ(細)を取り付け、L字ソケットの内部の凹部にはめます。



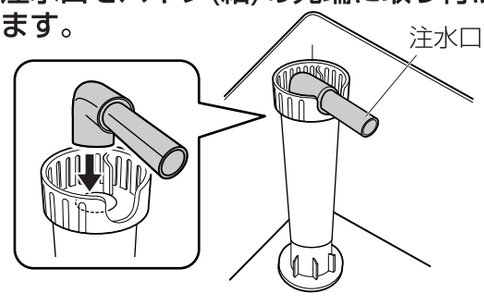
5 パイプ(太)をソケットに取り付けます。



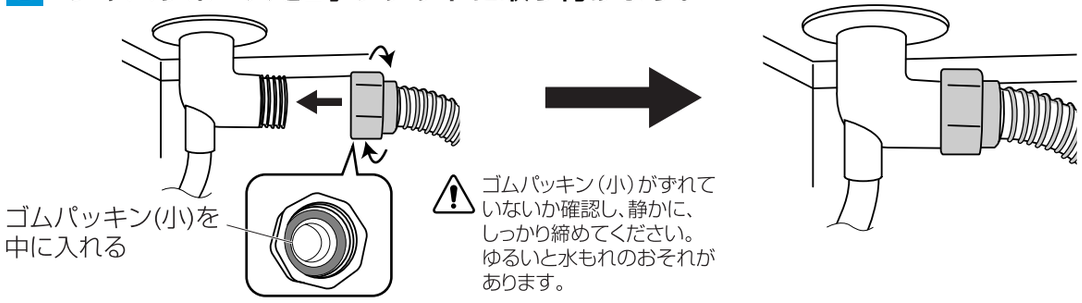
6 消音キャップを取り付けます。



7 注水口をパイプ(細)の先端に取り付けます。



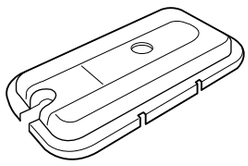
8 ジャバラホースをL字ソケットに取り付けます。



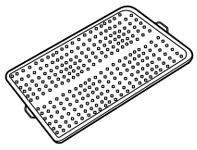
ろ過装置の準備

各部の名前と付属品

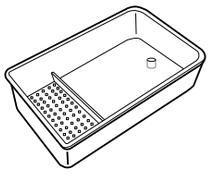
ろ過装置本体



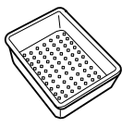
フタ



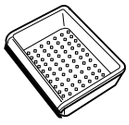
メッシュトレー（1枚）



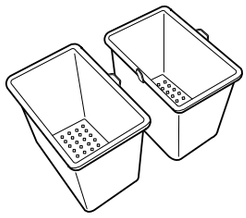
物理ろ過槽



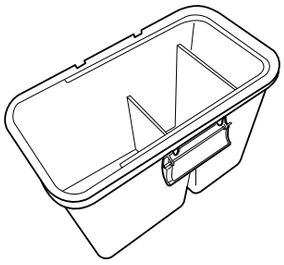
pH調整トレー



脱窒トレー
（パッキンシール付）

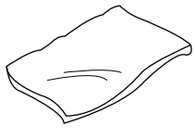


バクテリア着床ろ過槽(2個)



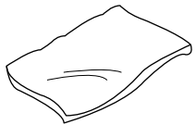
本体（バックル2個付）

ろ過材



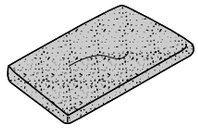
※使用するのは1枚です。
他は定期交換用に保管してください。

フィルターマット(粗目)×8

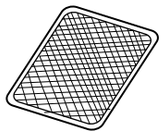


※使用するのは1枚です。
他は定期交換用に保管してください。

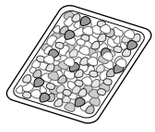
フィルターマット(細目)×8



硬度調整剤
(飼育開始1ケ月後にセットします)



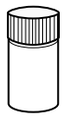
pH調整剤



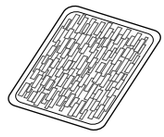
バクテリア着床ろ過材×2

バクテリアセット（別送品）

※梱包には入っていません

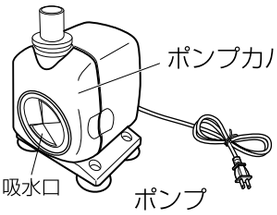


バクテリア液

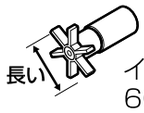


脱窒ペレット

ポンプセット



ホース



インペラ
50Hz地域
（東日本）用×1

インペラ
60Hz地域
（西日本）用×1

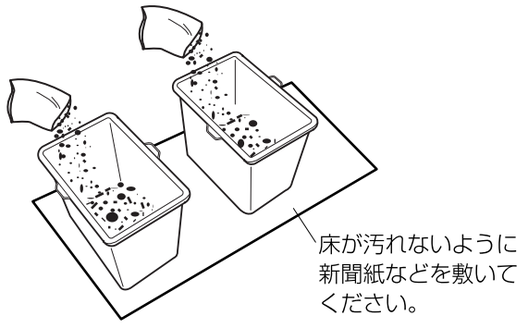
ろ過装置の準備

■ろ過装置の組み立て

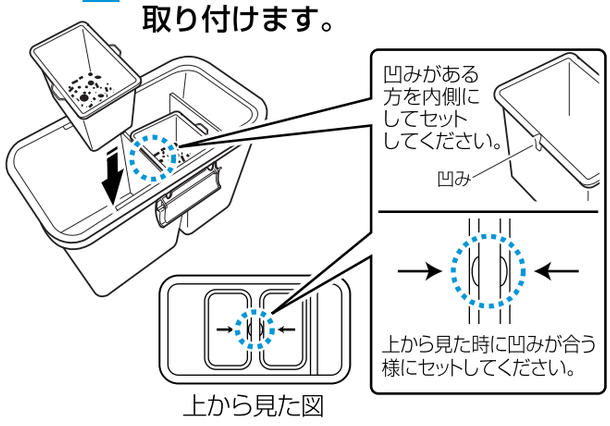
ろ過材の取り扱いについて

- ●取り扱いの際は必ず手袋を使用する。
- ●誤って口に入れない。
- ●目や傷口に入らないようにする。
- ●バクテリア液、脱窒ペレットはろ過装置組み立て時は入れない。
  水槽設置後1～2日水を循環させ、水道水のカルキ（塩素）を抜いてから所定の箇所へセットしてください。

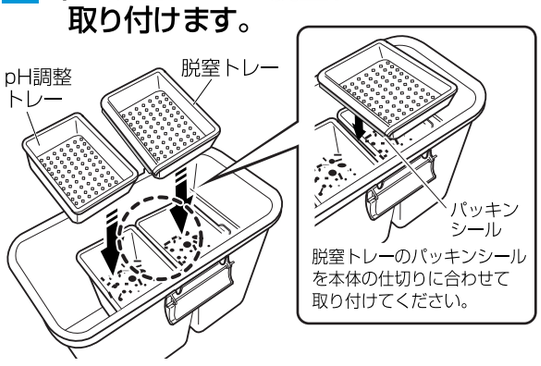
1 バクテリア着床ろ過槽の中に、バクテリア着床ろ過材を入れます。



2 バクテリア着床ろ過槽を図の位置に取り付けます。



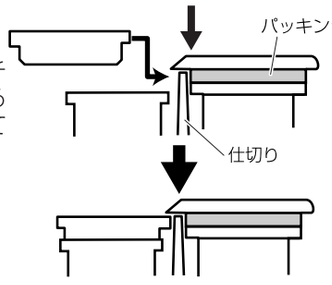
3 pH調整トレー、脱窒トレーを取り付けます。



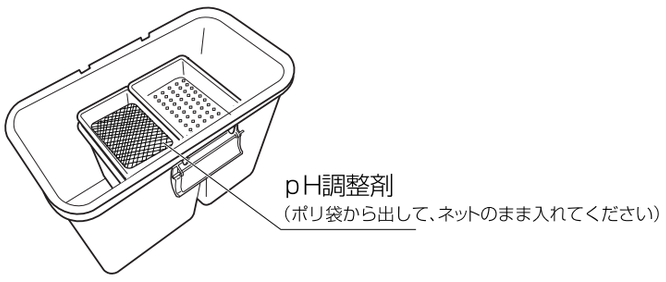
取り付け方のコツ

①パッキンシールが仕切りの内側に入るように押しつけます。

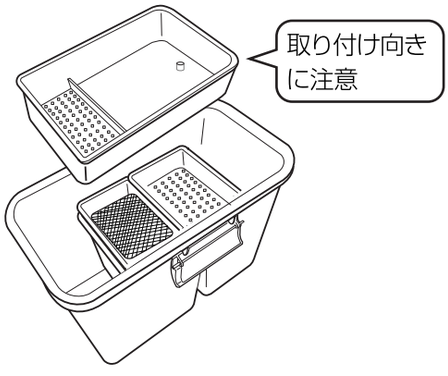
②pH調整トレーを脱窒トレーのフチにもぐり込ませるように取り付けてください。



4 pH調整剤を図の位置（pH調整トレー）に入れます。

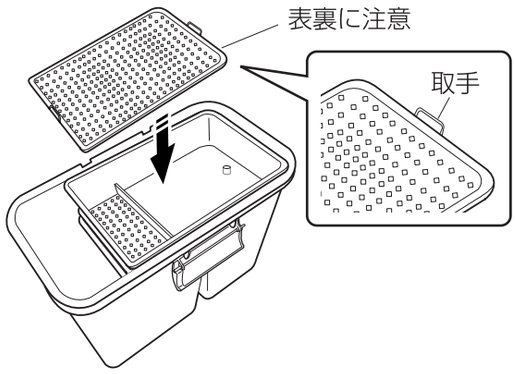


5 物理ろ過槽を取り付けます。

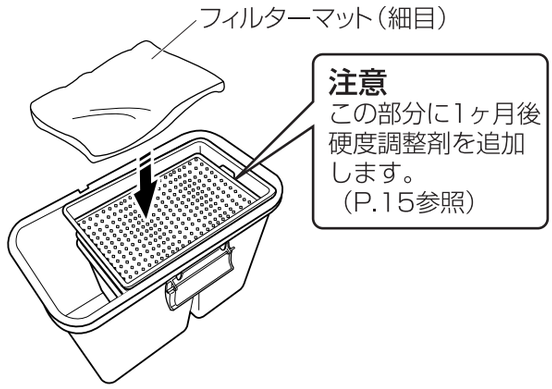


ろ過装置の準備

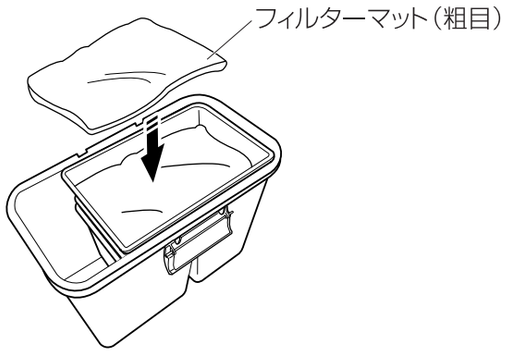
6 メッシュトレーを物理ろ過槽に
取り付けます。



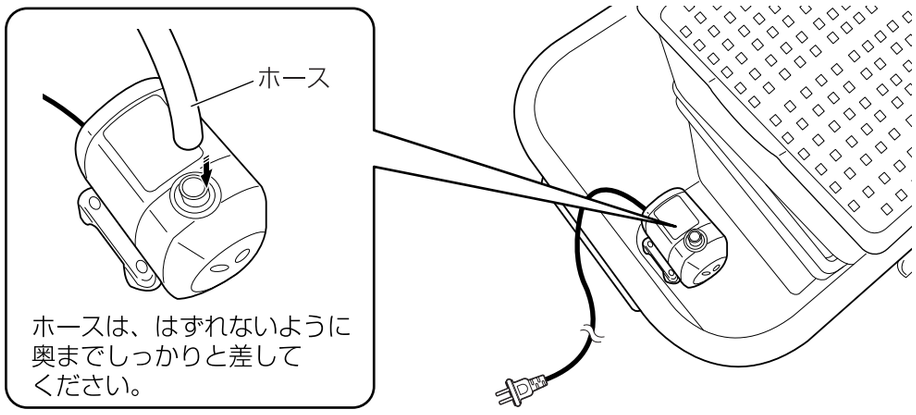
7 メッシュトレーの上にフィルターマット
(細目)を置きます。



8 フィルターマット(細目)の上に
フィルターマット(粗目)を置きます。



■ろ過装置を水槽台に設置し、ホースをポンプに差し込みます。



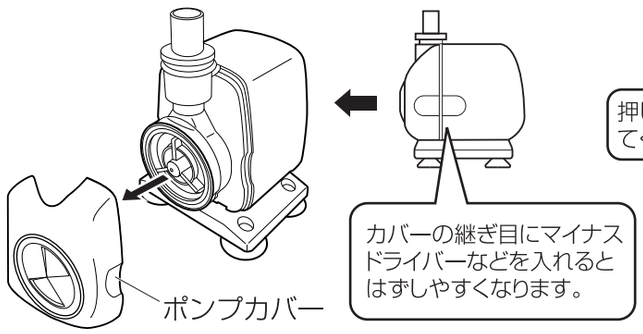
注意：お住まいの地域の電気周波数に合わせたインペラの取り付けが
必要です。P.13を参照のうえ対応するインペラを取り付けてください。

ろ過装置の準備

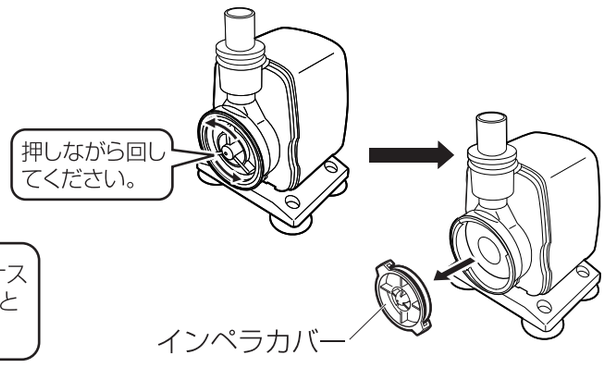
■ポンプのインペラの取り付け

本製品はろ過能力を発揮させるために、電気周波数に合わせ、50Hz用と60Hz用の2種類のインペラを付属しています。お住まいの地域に合わせたインペラを取り付けてください。

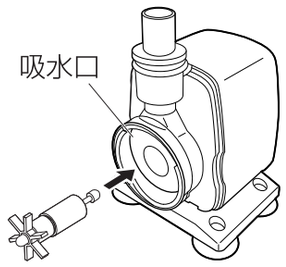
1 ポンプカバーをはずします。



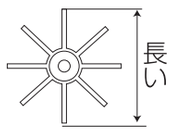
2 インペラカバーをはずします。



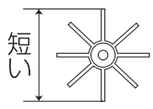
3 お住まいの地域に合わせたインペラ（50Hz用 または 60Hz用）を取り付けます。



※インペラにゴムキャップが付いていることを確認してください。

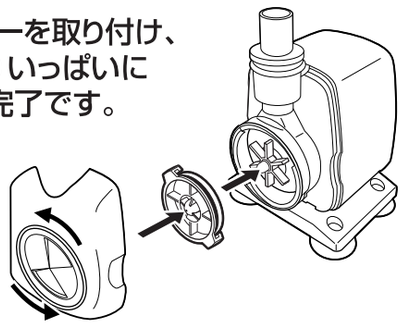


50Hz地域
（東日本）用インペラ



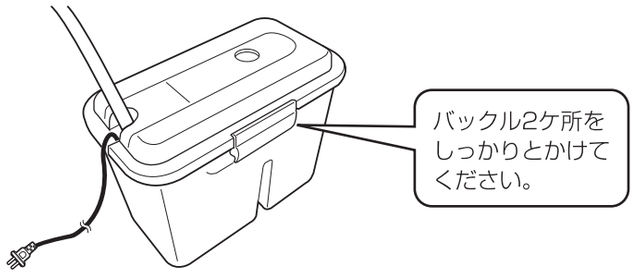
60Hz地域
（西日本）用インペラ

4 インペラカバーとポンプカバーを取り付け、吸水口のツマミを左（＋方向）いっぱいに回して、吸水量を最大にして完了です。



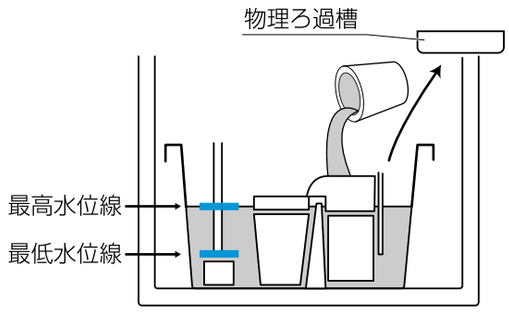
■フタをのせ、バックルをかけてフタがしっかり閉まることを確認してください。

フタがしっかり閉まらない場合、中のろ過槽がきちんとセットされていなかったり、ろ過材が間にはさまっている可能性があります。確認して再度セットし直してください。



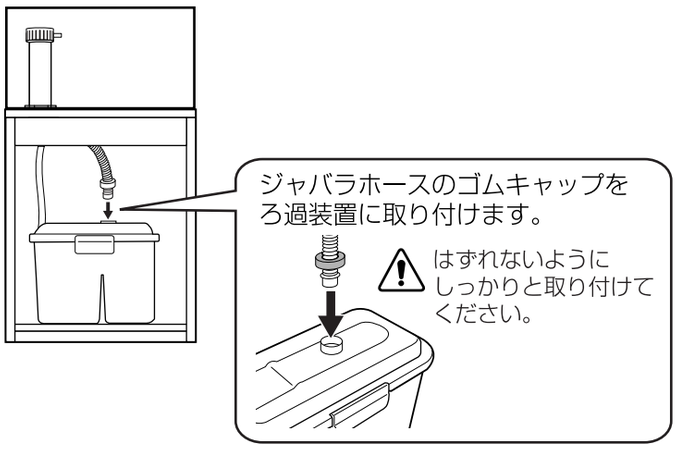
ろ過装置の設置のしかた

1 ろ過装置に水を入れます。

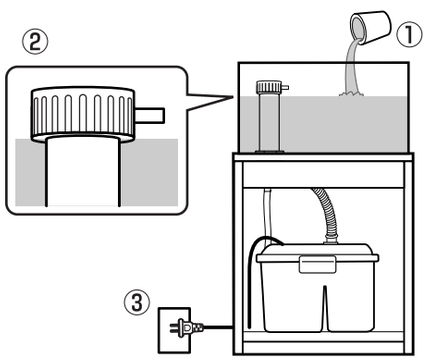


①ろ過装置のフタを一旦はずします。
②物理ろ過槽を取り出し、
　脱窒トレーに向かって水を静かに注ぎ、
　各ろ過槽に水が行きわたることを確認して
　水を左側の最高水位線まで入れてください。
③物理ろ過槽を元の位置に戻してください。
④ろ過装置のフタを閉め、バックルをしっかりとかけます。

2 ろ過装置と配管パイプを接続します。



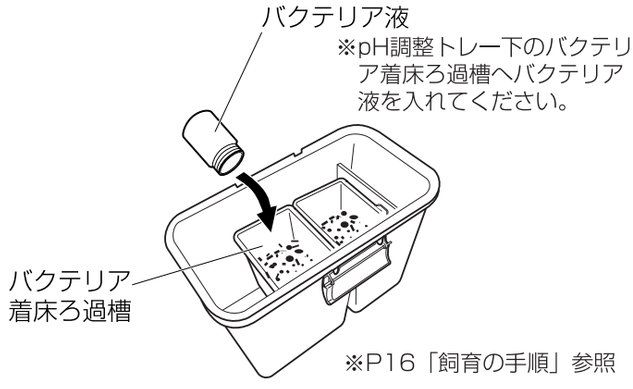
3 水槽に水を入れます。(砂などは事前に水槽に入れてください)



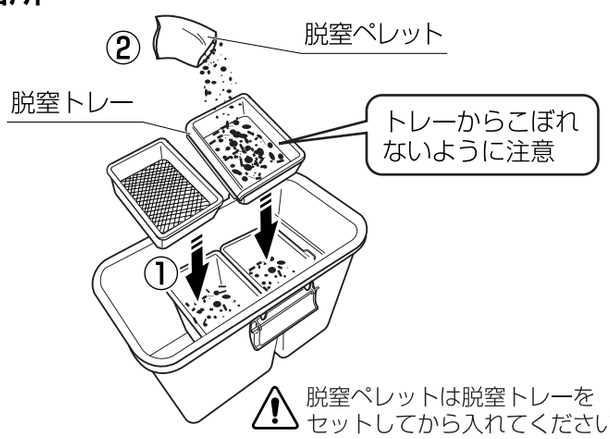
①水槽の中に水を注ぎます。
②パイプ(太)から水が落ちはじめたら水槽の中に
　水を注ぐのを止めてください。
③ポンプの電源を入れて水を循環させます。
　ろ過装置内の水位が下がりますので、
　水を水槽上部から最高水位線まで入れて
　水位を調整してください。

⚠ 水がこぼれたらすぐに拭き取ってください。
水槽台の腐食･変形などの原因になります。

4 1～2日間水を循環させ、水道水のカルキを抜いたあとバクテリア液と脱窒ペレットをろ過装置の所定の箇所へセットしてください。

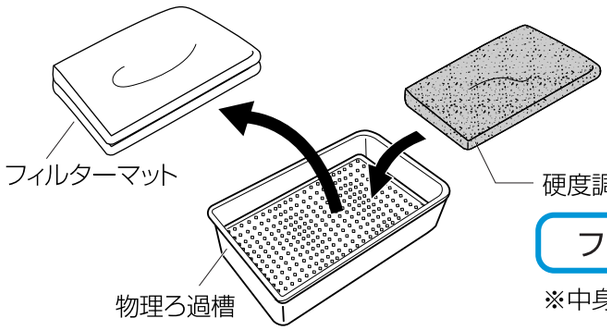


※P16「飼育の手順」参照

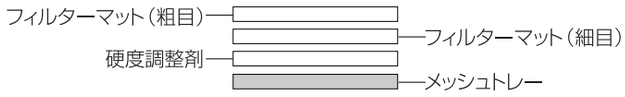


⚠ 脱窒ペレットは脱窒トレーをセットしてから入れてください。

硬度調整剤の追加（飼育開始1ヶ月後）



ろ過材の順番



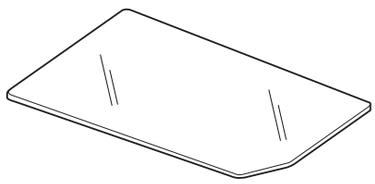
フィルターマットの下に置く

※中身が片寄らないよう均等に置いてください。

飼育開始1ヶ月後に硬度調整剤を追加する作業を行ってください。行わなかった場合、本製品の性能が発揮できません。

ガラスフタの設置

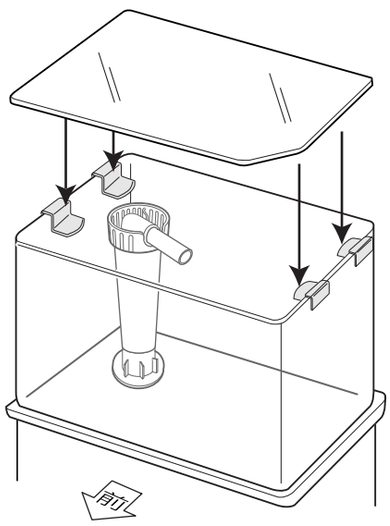
各部の名前



ガラスフタ

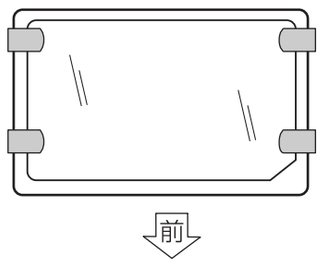
フタ受けパーツ×4

■フタ受けパーツをガラス水槽のふちに取り付け、ガラスフタをのせます。



⚠ ・ガラスフタの上に重量物をのせないでください。破損の原因になります。
・フタ受けパーツにのせる際に、ガラスフタを落とさないようご注意ください。

フタ受けパーツ位置の目安



飼育の手順

設置が終わったら、飼育の準備をはじめましょう。

■水槽に入れる水を作りましょう（P14のろ過装置の設置のしかた）

※市販のカルキ抜き剤をご使用になると、すぐに魚を入れる準備ができます。
本水槽セットでは約54Lの水を使います。

水道水にはカルキ（塩素）が含まれています。水を水槽に張ったら1～2日間水を循環させカルキを抜きます。

⚠ **注意**：カルキを抜かないと、専用バクテリアや観賞魚が死ぬ原因になります。

■魚を入れる ※設置後、1～2日程度水を循環させてから菌を投入し、魚を入れてください。

●観賞魚を入れる際は、pHショックや温度ショックなどがあるため、時間をかけて魚を水槽の水に慣らします。
まず、魚が入った袋ごと30分以上水槽の水に浮かべて、水槽と袋の中の水温を合わせます。
●温度を合わせたあと、袋の水ごと魚を器（バケツなど）に移し、水槽の水を少しずつ加えて水合わせをします。（20～30分が目安です）
●水合わせが終わったら、観賞魚だけをすくって水槽にはなします。
残餌や糞などから魚に有害なアンモニアが発生します。弊社の硝化バクテリアによって軽減させることはできますが、はじめはバクテリアが定着・活性するまでに多少時間がかかりますので、はじめは魚の数を少なめにして慣らし飼いをし、魚の状態を見ながら徐々に増やしていくことをお勧めします。

■飼育の管理をしましょう

●決まった時間にエサやりを心がけましょう。
●エサは1日1～2回与えましょう。エサの与え過ぎは水質悪化の原因になります。
2～3分で食べきる量をあげましょう。
●死んだ魚や枯れた水草はすぐに取り除いてください。水質悪化の原因になります。
●水槽の水が汚れなどで黄色くなった場合は、市販の活性炭をご使用ください。
●魚を多く飼育する場合は、市販のエアレーション器具の設置をお勧めします。

■魚の飼育数の目安

魚には、混泳できる魚と喧嘩などのために一緒に飼育できない魚がいますのでご注意ください。

60L 水槽で、飼育する理想的な個体数は、下記の目安の通りです。

カラシン系（ネオンテトラなど）…50 匹 程度

メダカ系（グッピーなど）…30 匹 程度

シクリッド系（エンゼルフィッシュなど）…10 匹 程度

※混泳させる際には、魚の特徴も考え、隠れ場などを作ってあげ、ストレスが溜まらない環境を作りましょう。

お手入れ

■本水槽システムが正しく機能するためには日頃のお手入れが必要です。
■本水槽システムに特有な定期的なお手入れとして下記のメンテナンスがあります。

●1週間を目安に水位のチェックと水の補充
ろ過装置の水位をチェックし、最低水位線近くまで水位が下がっている場合、水位シールを目安に水補充を行います。
※本システムはオーバーフロー方式のろ過システムのため、水が蒸発するとまずろ過装置の水位が下がります。
ろ過装置の水位が下がるとポンプからの揚水量が下がります。
※ろ過装置の水位が低下しても水槽本体の水位は下がりません。必ずろ過装置の水位をチェックしてください。

お手入れの前に

■お手入れや掃除のときは、必ず水槽セットに使用しているすべての電源プラグを抜いてください。
■ろ過装置をお手入れするときは部屋の窓を全開にして換気と通気を良くしてください。

※ろ過装置に強い硫黄の臭いがする場合があります。

■ろ過装置をお手入れするときはゴム手袋を着用してください。
■本製品を掃除する際は洗剤、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

水槽が変形して割れ・水もれの原因になります。また、魚や水草にも有害です。
お手入れの際は、水またはぬるま湯で固く絞った布を使って拭いてください。

水槽本体・ガラスフタ・配管類のお手入れ

●柔らかい布でから拭きするか、固く絞った布でていねいに拭いてください。
●水槽内側のお手入れの際は、防水のためのシリコン塗布部をブラシなどで強くこすらないでください。
※シリコンの損傷による水もれの原因になります。
●水槽にコケが発生した場合はそのまま放置せずに取り除いてください。
※そのまま放置されますと、コケがガラスとシリコンの間に侵入し、シリコンが剥離され水もれの原因になります。
●水槽の砂利を洗うときには水槽の外に取り出してから洗ってください。
※砂利を取り出す際にガラス面を傷つけないようにしてください。ガラス面に傷が入りますと、水槽が割れる原因になります。
● 1週間に一度を目安にろ過装置の水位をチェックし、最高水位線を超えないように水を追加します。
※水を追加するときは水槽上部から少しずつ入れ、ろ過装置の水位シールを目安に水位を調整してください。
※ろ過装置の水位が最低水位線より下がりますと水槽内の流水量が減り、ろ過システムが正しく機能しなくなります。
●水槽内吸水部にゴミや異物・コケが付着した場合は放置せず、取り除いてください。
※そのまま放置されますと水槽内の流水量が減り、ろ過システムが正しく機能しなくなります。

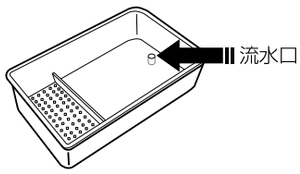
ろ過装置のお手入れ

ろ過装置をお手入れする前に次の手順に従って、ポンプからホースを、ろ過装置からジャバラホースをはずします。
①ポンプの電源プラグを抜きます。
②水槽への水の流れと、ろ過装置への水の流れが止まっていることを確認します。
③ポンプからホース（ ポンプとホースは接続したまま ）をはずします。
④ろ過装置からジャバラホースのゴムキャップをはずします。
⑤ろ過装置を水槽台から取り出します。
※ろ過装置のバックルをはずす際は、倒れないようフタをしっかりおさえてください。
※お手入れ中に水やろ過材などがこぼれたりする場合がありますので、作業する際は新聞紙などを敷いたり、高級じゅうたんなどの上では作業をしないなど十分ご注意ください。
※洗剤は使用しないでください

お手入れ

ろ過装置本体・フタの汚れの清掃

●柔らかい布でから拭きするか、固く絞った布でていねいに拭いてください。



物理ろ過槽の流水口の清掃

●1 ヶ月半を目安に物理ろ過槽の流水口を綿棒などで清掃してください。
※物理ろ過槽の流水口が目詰まりしますと、本水槽のろ過システムが正しく機能しなくなるだけでなく
ろ過装置内に温泉臭（硫黄臭）が発生する場合があります。

ろ過材のお手入れ

●ろ過材のお手入れについては、交換時期は目安であり、お客様の飼育環境によっては交換時期などが変わる場合があります。魚の様子を観察・水質をチェックしてください。

フィルターマット（粗目）（細目）

● 1ヶ月半を目安にそれぞれ新しい専用フィルターマットと交換してください。

バクテリア着床ろ過材

●約1 年毎に新しい専用バクテリア着床ろ過材と交換してください。
※取り扱い時はろ過材の突起などによるけが防止のため手袋を着用してください。

pH調整剤

●約1 年毎に新しいpH調整剤と交換してください。

脱窒ペレット

●約 1 年毎に新しい脱窒ペレットと交換してください。
※脱窒ペレットが届いてから使用するまでの保管は直射日光を避け、冷蔵保管してください。
※脱窒ペレットは硫黄成分を含みますので取り扱う際は手袋を着用してください。
もし直接皮膚に付着した場合はすぐに水でよく洗い流してください。

バクテリア液

●約1年毎に交換する pH 調整剤・バクテリア着床ろ過材・脱窒ペレットを交換した後に、新しい専用バクテリア液を水槽に入れます。
※バクテリア液が届いてから使用するまでの保管は直射日光を避け、冷蔵保管してください。
※バクテリア液を水の中に入れるときは必ずカルキ(塩素) を抜いた水に入れてください。
(塩素によりバクテリアが死滅するのを防ぐため)

硬度調整剤

効果を継続させるために、3 ヶ月に一度、塩水に浸けてメンテナンスする必要があります 。
①硬度調整剤の入った袋をろ過装置から取り出し、表面の汚れを軽く洗い流してください。
②バケツを用意し、約 2L の水道水に 200g の食塩を加え、よく溶かしてください。
（にがり等の入っていない食塩をご使用ください）
③硬度調整剤を袋のまま食塩水に入れ、軽くもみほぐし、その後 30～60 分間浸け置きしてください。
④浸け置きが終わりましたら、水道水で食塩水を洗い流してろ過装置にセットしてください。
⑤初めて設置してから1年経過しましたら新しい専用硬度調整剤と交換してください。
※硬度調整剤を使用するまでの保管は直射日光を避け 30℃以下（冷凍禁止）の冷暗な場所に保管してください。

ろ過材の廃棄について：ご使用後のろ過材については、お住まいの各自治体の指示に従い廃棄してください。

お手入れ

水中ポンプのお手入れ

※水の流れが悪くなったと感じた場合は、ポンプのお手入れをしてください。

1 ポンプの電源プラグを抜いて、ろ過装置から取り出してください。

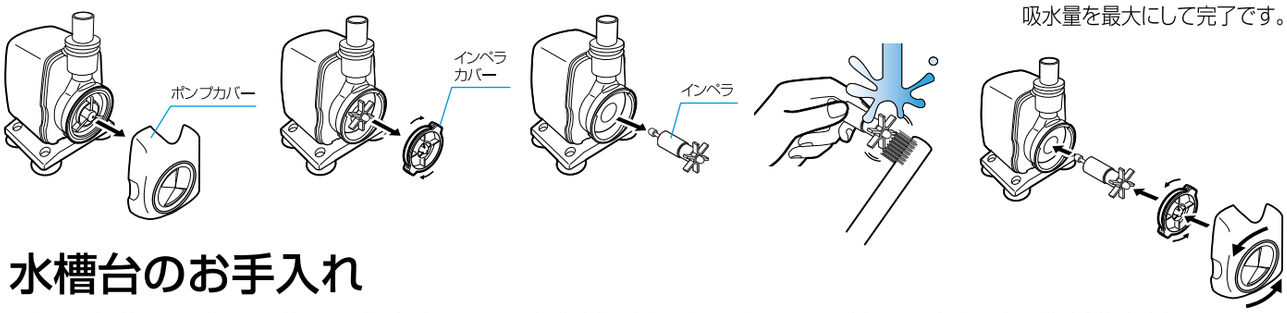
2 ポンプカバーをはずします。

3 インペラカバーのツマミを回してカバーを取りはずします。

4 インペラを抜きます。

5 インペラを流水やブラシできれいに掃除をします。

6 インペラ、インペラカバー、ポンプカバーを取り付け、吸水口のツマミを左（＋方向）いっぱいに回して、吸水量を最大にして完了です。



水槽台のお手入れ

●汚れを落とす際は、薄めた住宅家具用合成洗剤で拭いたあと、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。
●アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

飼育を中断したとき

●本水槽での飼育をやめるときには使用中のろ過装置をそのまま放置せずに、ろ過材を取り出して処分してください。（各自治体の指示に従って廃棄してください）

⚠ 警告　ポンプを止めたときには使用中のろ過材はそのまま放置せずに、すぐにろ過装置から取り出して処分してください。

※ポンプが止まったまま放置しておくと、ろ過装置内に強い硫黄の臭いがする場合があります。

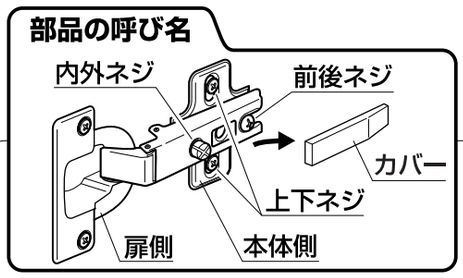
約1年後、著しく汚れた場合（目詰まりなど）や新しく飼育を始める場合は以下のお手入れを参考にしてください。

	お手入れ方法
ガラス水槽	外観的に濁りや浮遊物、藻、コケなどが発生していない場合は、特に水交換の必要はありません。 発生している場合は、17ページのお手入れ方法を参考の上、水の交換をしてください。
ろ過装置	**17～18ページの「ろ過装置のお手入れ」を参考にしてください。** バクテリア着床ろ材：長期稼働で目詰まりしているおそれがありますので、一旦ろ過器から取り外し、水道水でバクテリア着床ろ過槽ごと水の中のろ材をすすいでください。すすいだ後は再度、ろ過器に戻してください。 脱窒トレー：トレー内に入っている脱窒ペレットは、古いペレットを廃棄後、新しいものと交換してください。 物理ろ過槽：中のフィルターマット、メッシュトレーを取り外し、内部を洗浄してください。その際、流水口など目詰まりしやすい箇所は特にていねいに洗ってください。洗浄後、メッシュトレーをのせ、新しいフィルターマットを取り付けてください。
pH調整剤	新しいpH調整剤と交換してください。その際、軽く水洗いしてお使いください。
バクテリア液	バクテリア着床ろ材などを設置終了後、最後に新しいバクテリア液を水槽に入れてください。
硬度調整剤	ご使用いただいた硬度調整剤は廃棄して、新しいものと交換してください。 水槽の水を全交換した場合は、稼働1ヶ月後にセットしてください。

※洗剤などは使用しないでください。

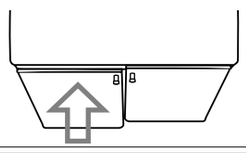
水槽台の扉の微調整方法

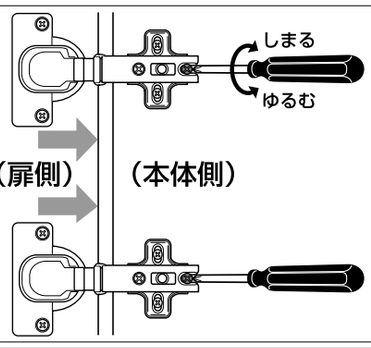
（⊕ドライバーをご用意ください。）



❶扉を開いた状態で作業を行って下さい。

●扉が前に出過ぎている

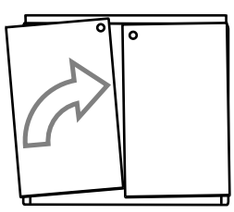


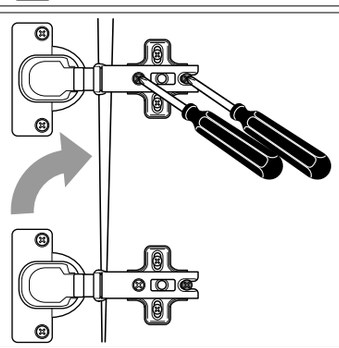


上下両側のヒンジパーツを調整する

1）扉が落ちないように支える
2）前後ネジをゆるめる
3）扉を押して調整する
4）前後ネジをしめる

●扉が傾いている

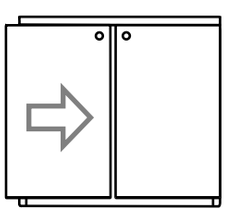


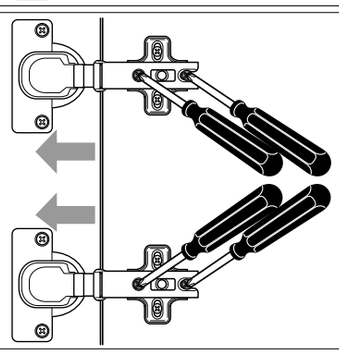


片側のヒンジパーツのみを調整する

1）前後ネジをゆるめる
2）隙間が並行になるように
　内外ネジを調整する
3）前後ネジをしめる
※　逆に傾いている場合も
　同じ要領で調整する

●扉が離れている

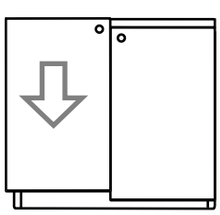


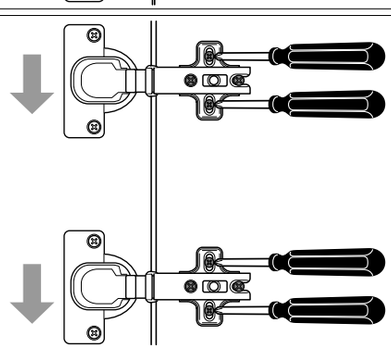


上下両側のヒンジパーツを調整する

1）前後ネジをゆるめる
2）内外ネジを上下両方
　同じ量で調整する
3）前後ネジをしめる
※　扉が閉らない場合も
　同じ要領で調整する

●扉が上にずれている





上下両側のヒンジパーツを調整する

1）上下ネジをゆるめる
2）高さがそろうように
　調整する
3）上下ネジをしめる
※　逆にずれている場合も
　同じ要領で調整する

こんなときのQ&A

こんなとき	考えられる原因	対処方法
水質・ろ過		
・水がきれいにならない。	・水の循環が止まっている。 ・餌を多く与えすぎている。	・ポンプが作動しているか確認をして水を循環させてください。 ・1回に数分程度で食べ切る量を与えてください。
・バクテリア液のボトルの底に沈殿しているのは何ですか?	・バクテリアが集まったかたまりです。	・使用時にボトルを良く振ってからご使用ください。
・脱窒ペレットの臭いは何ですか?	・脱窒ペレットに含まれている硫黄成分の臭いです。	・使用上問題ありません。
水槽関連		
・水がもれているように思う。	・水温と周囲温度との差で、結露している。 ・ホースの接続がはずれている。 ・ソケットの取り付けが不完全。	・乾いた布で拭き取ります。 ・しっかりとはずれないように差し込みます。 ・しっかりとソケットを締め直します。
・初めからキズが付いているように見える。	・シリコンの引き糸が付着している。	・爪の先で触り、弾力があればシリコンです。 ・ご使用上の問題はありません。
水槽台		
・扉がずれている。	・ヒンジがずれている。	・P20 を参照して調整してください。
ろ過装置		
・ろ過装置から水があふれた。	・最高水位線より上に水が入っている。	・最高水位線より下に水量を調整してください。
・水中ポンプが動いていない。	・電源プラグが抜けている。 ・ゴミが詰まっている。 ・インペラが正しくセットされていない。	・電源プラグをしっかりと差し込んでください。 ・ポンプ、インペラに付着したゴミを取り除いてください。 ・インペラをもう一度正しくセットし直してください。
・水流が弱い、異常音がする。	・ゴミが詰まっている。 ・吸水口が水中から出ている。	・ポンプ、インペラに付着したゴミを取り除いてください。 ・完全に水中に入れてください。

仕様

商　　品　　名		アクアクリア水槽セット AQS-600T
電　　源		AC100V 50Hz/60Hz
ポンプ	吐水量	420L/時間（50Hz/60Hz）（最大）
	消費電力	20W(50Hz) ／ 16W(60Hz)
	コード	約1.5m
設置時サイズ(mm)		幅約630×奥行約340×高さ約1210
水槽サイズ(mm)		幅約600×奥行約250×高さ約360　板厚約6
水槽台サイズ(mm)		幅約630×奥行約290×高さ約800
ろ過槽サイズ(mm)		幅約445×奥行約250×高さ約345
水　槽　容　量		約54L　水槽部分：約43L　ろ過器部分：約11L
製　品　重　量		約45kg

別売品

※交換用ろ過材はアクアクリア水槽セット専用のものをお買い求めください。

●フィルターマット　AMF-23F

●バクテリア着床ろ過材　AMF-3B

●pH調整剤　AMF-5C

●脱窒ペレット　AMF-2D

●バクテリア液　AMF-50B

●硬度調整剤　AMF-650I

MEMO

保証とアフターサービス

よくお読みください。

【1】保証書
●保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、保証書の内容をよくお読みになり大切に保管してください。
●保証書は本書に明示されている、期間・条件のもと、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではなく、保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合には、お求めの販売店、または下記アイリスコールへお問い合わせください。
保証期間〈お買い上げ日から1年間です〉
フィルター、ろ過材、バクテリア液、脱窒ペレットは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

【2】保証期間中に修理を依頼されるとき
お求めの販売店へ保証書を添えてご依頼ください。保証書の記載内容により、販売店で修理をうけたまわります。

【3】保証期間経過後に修理を依頼されるとき
お求めの販売店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

【4】補修用性能部品の保有期間
●当社はアクアクリア水槽セットの補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【5】修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

【6】保証期間中の修理とアフターサービスについて、ご不明の点がございましたら、お求めの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

アクアクリア　水槽セット　保証書

形　名	**AQS-600T**
お客様	ふりがな お名前　　様 ☎ 〒 ご住所
取扱販売店名･住所･電話番号	
保証期間	お買い上げ日 年　　月　　日より 本体は1年間 ただし消耗部品は除く

●お買い上げいただいた日から、1年間を保証期間とし、この期間内に正常な使用状態において故障、及び損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容に基づいて無償修理いたします。なお水槽の割れおよび傷は保証の対象外となります。
フィルターマット、硬度調整剤、pH調整剤、バクテリア着床ろ過材、バクテリア液、脱窒ペレットは消耗品ですので、保証期間内でも「有償」とさせていただきます。
●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。
1　誤った設置による故障、および損傷。
2　ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
3　不当な修理や改造による故障、および損傷。
4　日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
5　家庭以外（船舶や車両などへの搭載）で使用されたことによる故障、および修理。
6　屋外で使用したことによる故障、および損傷。
7　観賞魚の飼育以外での目的で使用したことによる故障、および損傷。
8　異常水質による故障、および損傷。
9　観賞魚用薬品以外の薬品を入れたことによる故障、および損傷。
10　火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷。
11　魚類などの生体の死亡や病気、および水草の枯れ。
12　本保証書の提示が無い場合。
13　本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入が無い場合。
14　本保証書の字句を書き換えられた場合。
●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
●保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
●保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。保証期間終了後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または当社までご連絡ください。
●本保証書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目１２番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/
お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00
0120-211-299

MADE IN CHINA
130307-010-THH